



# 物流ニッポン

2008年(平成20年)

12 | 4 (木)

発行/月曜日・木曜日 第3184号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

## 日 輪 新鹿島事業所を開設 安全、安心、合理化さらに追求

【石井麻里】日輪(永の新浦安事業所(千葉県井保彦社長、東京都中央浦安市)開設を皮切りと区)は来年三月、新鹿島した二連の設備投資の最事業所(茨城県神栖市) 終段階。事業基盤の強化を開設する。二〇〇六年を図り、今期(〇九年九

月期)のスローガン「日輪の原点商法に回帰」の主眼である、安全、安心、合理化をさらに追求する。〇六年二月、十年ぶりの大型設備投資として同社発祥の地、千葉県浦安市で新浦安事業所を開設した。本社ビル建て替えに続き、昨年十二月には水島港玉島ハーバーランドで岡山事業所(岡山県倉敷市)を移働。洗浄施設を備えた車両基地で、危険物倉庫の設置により敷地内の一時保管ニーズにも対応している。

ことしは二月に、手狭になった市原事業所(千葉県市原市)を移転し、椎の森工業団地に袖ヶ浦事業所(袖ヶ浦市)を新設した。敷地面積は旧事業所の二・五倍の一万六千五百平方メートルで、洗浄施

設、危険物倉庫、自家給油スタンドを設置。五月から、ISOタンクコンテナ用の自動洗浄設備も本格稼働させた。

このほか、大型車両に対応するため神戸事業所(神戸市西区)の機能を拡張。廃液を固形化して処理できる環境配慮型の洗浄設備を導入する。また、鹿島地区では、既にタンクローリー製造を担う子会社の工場移転を完了しており、来年三月に鹿島事業所として車両基地、洗浄施設を開業予定。車両基地の拡大を図ってきた永井社長は、世界的な経済危機に対し、「先行きの読めない時期こそ、原点に戻るべき」と強調。「運送事業は虚業ではなく実業であり、モノを運ぶ仕事は減ってもなくなることはない。事業の裾野(すその)を広げ、顧客のニーズに対応できる機動的な体制を整えたい」としている。